

# 水保通信

第 57 号  
水保まちづくり・広報部  
平成 23 年 8 月 11 日発行

ホームページ <http://www.usennet.ne.jp/~mizuho/>

メールアドレス [mizuho@usennet.ne.jp](mailto:mizuho@usennet.ne.jp)

## 写真で見る水保の環境貢献活動

ここに掲載しているのは、広報部で取材できたものだけで、実際には、もっと多くの活動がおこなわれています。今年は、震災や原発の影響で例年でない節電が求められています。無理な節電をして、熱中症などにならないよう、まずは、健康第一で、それから、それぞれの人ができる環境貢献活動を継続して行きましょう！

### 壁面緑化

地球温暖化防止対策として、水保集落センターと、水保ふれあいの家に、壁面緑化が施されました。すだれの熱遮蔽率が50～60%、高性能遮光ガラスが55%程度の中、植物の緑のカーテンは約80%の太陽の熱エネルギーをカットする効果があります。来年は、各家庭でもやってみましょう。



### ハマヒルガオ群生地清掃

毎年4月から10月にかけて、速野学区まちづくり推進会議および湖岸に咲くハマヒルガオを守る会によって、なぎさ公園にあるハマヒルガオ群生地の清掃・保護活動が行われています。今年、水保町は6月が当番で、毎週日曜日の朝、自治会三役と協議員のみなさんが交代して、清掃活動をされていました。



### ニゴロブナ放流

水保環境保全隊、めだかクラブ、生涯学習部、生活産業部、自治会役員のみなさんと、多くの子どもたちが参加するなか、世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策の一つとして、6月4日（土）に、ニゴロブナの稚魚2万5千匹を、田んぼに放流し、7月2日（土）には、成長した幼魚を、田んぼから、川へ放流しました。



### 花壇の定植

6月26日（日）8時から、花の街角づくり事業ボランティアのみなさんをはじめとして、生活産業部員、自治会役員、小学校PTA・子ども会役員、小学生（高学年）が参加して、町内の花壇に季節の花を植替える作業が行われました。



### 河川愛護・美化活動

7月24日（日）7時から、宮総代、自治会三役、協議員による樹下神社の草刈りに始まり、8時から、上町、中町、西町毎に、所定の場所に分かれての夏の河川愛護（旧堤防の草刈り）と、美化運動（排水掃除）が実施されました。怪我や熱中症もなく無事終わりました。



# 人権学習会 生涯学習部

6月26日(日)慰霊祭終了後、樹下神社社務所にて、正覚寺の齊藤恵住職を講師にお招きしての人権学習会が開催されました。最初に7~8人のグループに分かれて「人権」を話合った後、銭形平治の物語りを例えに、昔は「人権」という言葉がなかったことを教えて頂きました。また、いろいろな事例のお話から、我々が差別を乗り越えていないことも気付かせてもらいました。



# 座談会 プラン構築部



7月2日(土)、プラン構築部主催進行の下、自治会役員、小・中PTA歴代役員、約30名が「水保ビジョン構築」の一つの目標である次世代への水保を担う若い世代や子ども達について座談会が開催されました。中卒以上の若者達がどのようにすれば気軽に自治会行事に参加してくれるだろうといった内容で話し合いがされ、参加し易いように受け皿を設けるといった意見で、例えば、広報の一面を担当してもらおう、町民交流会で何か一つ担当してもらおう、夏祭りで屋台を担当してもらおう・・・等幾つかの意見が出されました。現在、存続されている愛郷会さえも会員数が減少している中、難しい問題だとは思いますが、伝統を伝えてゆく事が大人の役目でもあり、旧弊を除き新しい水保を築いて行くためには必要な事だと思います。今回の座談会では、結論は出ませんが、今後2回、3回と繰り返し、水保の発展につながるいい結論が出る事を願っています。

# 趣味の会 (編み物)

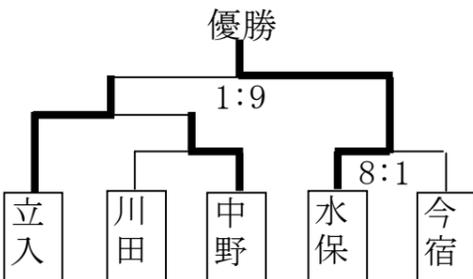
自分の好きなものを編み、分からなければ「あんたーこれは、こうやんか(笑)」と気さくに教え合いながら楽しい一時を過ごしておられます。一本の糸から一枚のチュニックやベストに出来上がった時は、とても達成感があると思います。今や節約の時代、昔寒さをこらえてあんだセーターをほどこき、もう一度編み直すのも、一つの節約では・・・。



毎週水曜日 20時~21時 「編み物」の他に、「メロディベル」「カラオケ」「踊り」もあります。

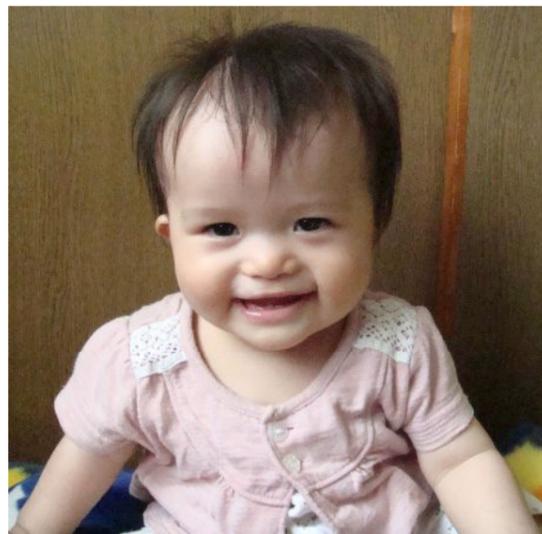
# 水保ソフトボール優勝

6月5日(日)第37回守山市民スポーツカーニバルに参加した水保ソフトボールクラブが、優勝されました。今年のチーム行動目標「つぎにつながるプレー」を実践し、硬くならず楽しくやった結果だと思えます。おめでとうございます。



# 赤ちゃん紹介

西町  
小山定寛さん、加奈子さんの長女  
**朗穂**(あきほ)ちゃん  
平成22年8月20日生



上町  
野田剛さん、美香さんの長女、長男  
**唯那**(ゆいな)ちゃん **悠斗**(ゆうと)くん  
平成22年9月19日生 平成20年7月17日生



# 水保町まちづくりアンケート (平成22年1月実施) 意見・思い集(3)

若い世代の人がどんどん町内のことに無関心になっているように思う。そういう人たちの興味をひく企画をたてようとする、そのためにさらに人員が必要となり結果負担が増え、ますます参加をいやがるようになるのではないかな? 必要最低限の行事だけにして負担を減らし、そのかわり必ず参加するような方向に持っていけないか? 【40代、女】 集落センター使用後タバコの吸殻・事務所の紙くずは、必ず持ち帰る様をお願いしたいものです。無理ならば掃除当番専用焼却指定袋を用意して下さい。【60代、女】 集落センター等の掃除用具の整備をしてほしい。【50代、女】 水保に密着した市議の選出、「水保将来構想」のようなものや「あるべき水保」のような基本理念のようなものをつくり、三役が変わっても継続可能となるものが必要なのは。【40代、男】 水保史誌の作成。歴史、風習、伝統など今日までの変革(うつり変わり)。【70代、男】